

## 交通安全のための I T S 実証実験の実施について

愛知県 I T S 推進協議会（会長：愛知県知事）では、平成 2 5 年度に「I T S 安全・安心グループ」を設置し、交通安全をテーマに、I T S の活用方策や具体化に向けた取組等を検討しました。

平成 2 6 年度には、刈谷市及び豊田市において、交通安全のための I T S 実証実験に取り組むこととしております。

### 1 I T S 安全・安心グループの概要

- (1) 設置日：平成 2 5 年 1 1 月 1 2 日
- (2) 座 長：名古屋大学大学院 森川高行教授
- (3) 構成員：学識経験者、関係行政機関（県警、中部地方整備局、県、県内自治体）、企業等（トヨタ自動車㈱等の企業、研究機関）

### 2 平成 2 5 年度の取組

企業、研究機関等の協議会構成員に対して、交通安全のための I T S 活用方策の提案を募集し、応募された提案について、プレゼンテーションや関係行政機関等との情報交換を行いながら、具体化に向けた課題などを検討しました。

#### 【交通安全のための I T S 活用方策提案】

提案者	概要
(公財) 豊田都市交通研究所	車速センサーと電光掲示板を用いたゾーン 3 0 の速度超過対策
トヨタ自動車㈱	右折時衝突防止支援システム
㈱キクテック	横断者感知式注意喚起システム
篠原電機㈱	高齢者・視覚障がい者用 L E D 付音響装置
インターネット I T S 協議会	I I C 運転挙動分析システム
日本信号㈱	画像感知器利用の I T S 安全・安心システム
アジア航測㈱	超小型衛星画像等を活用した現地情報（交通状況、気象等）安心・安全サービス
愛知県立大学 小栗研究室	指差し呼称による安全教育システム・安全確認支援システム
愛知工科大学 宇野新太郎教授	近距離無線を使った歩行者安全支援システム

提案された I T S 活用方策を提案集として取りまとめて公表しました。

※ 3 月 1 7 日に知事定例記者会見で公表

また、県内の市町村や全国の都道府県・政令指定都市の交通安全担当部署に活用を呼びかけました。

### 3 平成26年度の取組

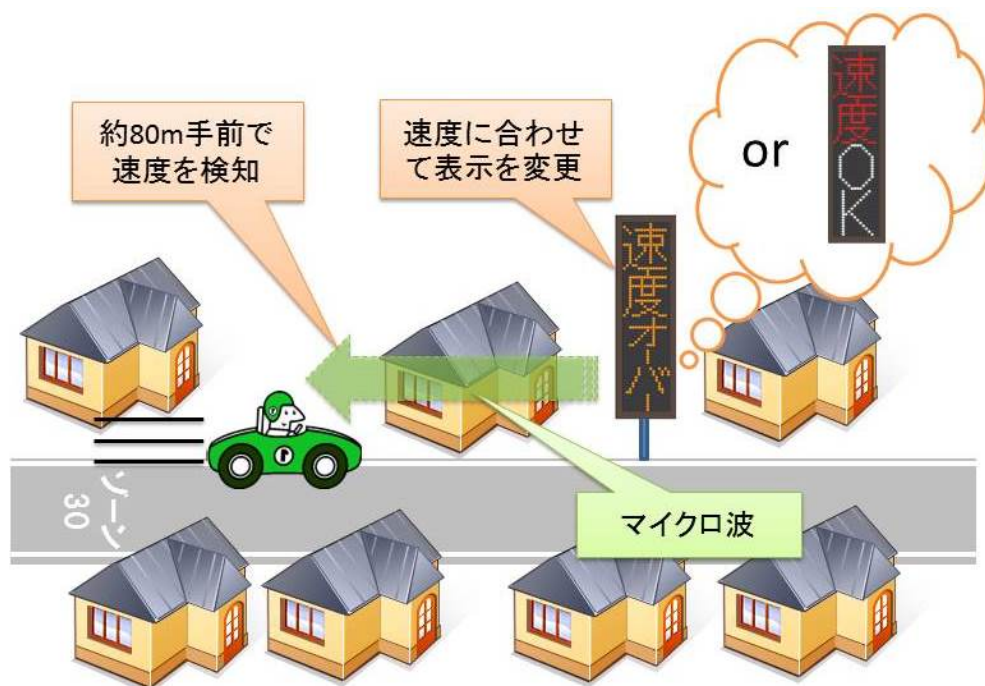
提案された事業のうち、(公財)豊田都市交通研究所の「車速センサーと電光掲示板を用いたゾーン30での速度超過対策」の提案について、同研究所と本協議会、刈谷市及び豊田市とが協力して、平成26年度に実証実験を実施します。これは、ゾーン30では全国初の取組として実施するものです。

※3月17日に知事定例記者会見で公表

#### 【「車速センサーと電光掲示板を用いたゾーン30での速度超過対策」概要】

ゾーン30内のハンプや狭さくなどの整備が難しい箇所、車速センサーと電光掲示板を用いて速度超過抑制を図る対策

- ①道路に設置した表示板一体型の車速センサーにより車両の速度を検知
- ②速度超過車両には「速度オーバー」、速度遵守車両には「速度OK」と電光掲示板に表示
- ③電光掲示板の表示から通過するまでの車両速度の変化を記録



#### 【ゾーン30とは】

警察庁が進める事業で、幹線道路に隣接し学校などがある区域の生活道路について、時速30kmに速度規制するゾーンを設け、規制表示や道路の一部の高さを盛り上げるハンプ、車道を狭める狭さくなどの速度抑制対策を実施することにより、抜け道としての通行を減らし歩行者等の安全を確保する対策です。

平成23年9月から開始され、平成28年度末までに全国で約3,000箇所を整備予定。このうち愛知県内では215箇所を整備予定で、平成26年3月時点では118箇所が整備されています。